

令和5年度 東京都立両国高等学校 教科指導の重点

(ア) 各教科の「6年間の指導計画」を基に、組織的な学習指導の展開を目指すとともに、生徒がお互いに切磋琢磨できる学習環境の整備を行う。また、授業評価アンケートの結果をいかして授業改善を図り、計画的・系統的な学力向上策に組織的に取り組む。学習指導を通して、個人の能力を最大限に開発するとともに、広く深い教養を涵養し、その能力に応じて計画的・自律的に学習するよう指導する。そのため英語科・数学科で習熟度別授業を行うとともに、補習・講習を適切に設定する。また、保健体育科・芸術科では少人数授業を行い、体力を向上させ、感性を磨く。すべての授業でチャイムと共に授業を開始する取り組みを継続する。

(イ) 国語力を高めるために読書活動に取り組み、言語活動を充実させる。

(ウ) 英語教育研究推進校として、またアクティブラーニング推進のために、各教科のレポート・発表などを通してプレゼンテーション能力の向上を図る。

(エ) 多様な実験・実習・体験的学習を取り入れるとともに、ICT機器を活用した授業展開を工夫し、生徒のICT活用能力を向上させる。

(オ) 教科「人間と社会」を第1学年の「総合的な探究の時間」で実施し、体験活動や防災訓練等を通して道徳教育や環境教育、防災教育の充実を図る。また、「探究」の基礎段階として、研究方法やテーマの探し方、論文の書き方、プレゼンテーション等について学ぶ。第2学年では、第1学年で学んだ「探究」の基礎を生かし、各自で「探究」学習を進め、論文等にまとめて発表する。第3学年では、2年間の「探究」の成果をもとに、将来に向けて新たな課題を設定し、探究的視野で取り組む。